
被害者

Mr.あいう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

被害者

【Nコード】

N8469H

【作者名】

Mr. あいう

【あらすじ】

僕は幼稚園のときからいじめにあってきた。人々は口々にこういう。「お前を見てるとイライラする」だからこそ僕は、その能力を利用した。

生まれたときから被害者だった。

幼稚園のころからいじめにあい、
それは高校まで続いた。

上履きなんてないものとして登校した。

痛くない殴られ方を身につけた。

誰とも目を合わせないよういつもうつむいていた。

それでも、

いじめは続いた。

いじめる側は口々に言った。

お前を見ているとイライラする。

何かむかつく。

早く死ね。

おそらく、それが本音だっただろう。

いろいろな人に相談したが、みな一様にイライラしていたのだから。

多分、彼らも同じ気持ちだったのだと思う。

先生はいじめられるほうに原因があるといい、

親はお前の行動に問題があるといっていた。

ある日、高校に入ってすぐ不登校していると、親からこう言われた。

「お前を見ていると本当にイライラする、それはほぼ才能だよ。人をイライラさせる天才だ」

そして、ただ一言。

「出てけ」

今となってはあの形だけの両親にも感謝している。

そうだ、これは才能だ。

この能力があれば、一生食うに困らない。

今日も僕はいじめにあっている。

道端で、絡まれている。

どうやらそいつは僕がガンをつけていたといたいらしい。

そいつは、やがて俺のそぶり、弁解の仕方までイライラすると言いつ出した。

人々は見てもぬ振り。

やがて、そいつは公衆の面前で刃物を取り出した。

よかった。フラグはたった、ありがとう。

そいつは刃物を振り上げると・・・

その刃物が自分の首に当たり絶命した。

僕はだらしなく悲鳴を上げ、尻餅をつく。

そして、四つの足を必死でばたかせてその場を離れる。

あの早業に気づいた奴はいなかっただろう。
たまたまかざした手にたまたま刃物が当たり、軌道が逸れた。
そう見えるよう死ぬ気で努力したんだから、

どちらにしろ、先に刃物を出したのはあいつだ。

僕は完璧な殺し屋、正当防衛で、人を殺す。
ホント、馬鹿とハサミは、使いよう。

（後書き）

なんか書いていたらジャンルがよくわからなくなってしまいました。
しかもハッピーエンドとバッドエンドが混同してしまいましたし、
皆さんは、ハッピーエンドとバッドエンド。
どちらだと思いますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8469h/>

被害者

2010年10月11日02時36分発行